# 近畿地方：琵琶湖の水と淀川流域の暮らし

琵琶湖の水を守ることが、なぜ京都や大阪の暮らしにもかかわるのでしょう

## 琵琶湖から大阪湾までの水の流れ（淀川の流域）




## 1 自然環境（湖と川）を中核に見る

**上流と下流が水でつながる**

琵琶湖の水は瀬田川・宇治川・淀川を流れ、京都や大阪、兵庫の都市でも水道の水として使われる

**1 原因**

生活排水（台所・洗濯などの水）や工場・田畑からの水に、栄養分（りん・ちっ素）がふくまれる
人口や工場が増え、湖に流れこむ量が増えた

**2 結果**

湖の中のプランクトンが増え、1970年代後半から赤潮やアオコが見られるようになった
水道の水ににおいが出ることもあった

**3 取り組み**

下水道を整え、よごれた水をきれいにして流す
りんをふくむ合成洗剤を使わない運動（石けんを使う運動）から、県が条例をつくった
ヨシ原を守り、水をきれいにするはたらきを生かす

**上流で水を守ると、下流の水道の水も守られる**

流域全体で、水を大切に使い、よごさない工夫を続ける

※ 琵琶湖の形と川の流れは模式。蛇口の記号は水道の水を取る所の例で、すべてではない。